

◇ 行事報告 ◇

3月18日（水）摩利支天月例祭

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今月は摩利支天堂での月例祭は行わず、参拝のみとし、本堂にて読誦会の後に引き続き摩利支天月例祭を執行しました。

また、3月の春季彼岸に因み、参拝者の方々とともに、檀信徒の先祖へお自我偈の供養をいたしました。

今回は、風という字についてお話がありました。

風の中に虫という字がありません。中国は昔、人間以外の生物を虫としておりました。蛙や蛇に虫の字がつくのもこの考えの名残です。さて、風によって運ばれる疫病



もまた何かの生き物がもたらすものとして考え、流行病の時は大人しく過ぎ去ることを願い、諸天に祈りを捧げました。この新型コロナウイルスも見えない・得体の知れない虫であると言えるでしょう。でも基本は同じです。体力を付け、手洗いうがいを徹底して過ごしましょう。また、少しずつ飲料水や長持ちする食料を増やしておきましょう。目安は1～2ヶ月分でしょうか。出来る事やってみましょう。

◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

5月18日（月）、6月18日（木）午前10時より執行いたします。

当山では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本堂入り口にアルコール液を用意し、広い間隔での着座をお願いしています。ご参拝は、各自でご判断頂き、無理のないようお願いいたします。

なお、予めお供えをされていらっしゃる方で、当日、参拝出来ない方については、月例祭において御祈念させていただいております。

## ◇ 近 況 ◇

新型コロナウイルスの影響で、学校の休校、在宅勤務やイベントの自粛が続いております。政府や自治体独自等、緊急事態宣言が発令された中でお過ごしの方々に御見舞い申し上げます。また、一日でも早く平常な日が過ごせる事を祈っております。

さて、日蓮宗池上本門寺では、新型コロナウイルスの疫病退散を祈って百万遍唱題祈願を行っており、来る5月30日(土)に結願法要を営まれるようです。(別紙参照)

妙法華寺でもこの運動に参加していきたいと思っております。一日朝夕お勤めをなさされている場合、例えば3回ずつ多く唱えていくことで、30日間に180回の助行となります。この運動に参加いただける方は、お唱えした回数又は5月30日までにお唱えしようと思う回数を同封の用紙に記入し、一家につき浄財1,000円以上を添えて、5月18日までに当山へお申し込みください。遠方の方は、用紙を同封の封筒にてご返信いただき、お供えは振込にてお願いいたします。当山で取りまとめてお送りさせていただきます。浄財につきましては妙法華寺の3万円と合わせて池上本門寺へお供えさせていただきます。(参加は自由です。)

これに参加されることで、身施、布施を行い、皆様のご陰徳へと繋がります。住職も1080回以上のお題目を唱える予定です。

これからも、当たり前ですが、まずは、うがい、手洗いをマメにして過ごしましょう。

境内は桜が咲いておりました。牡丹の蕾も膨らんでいます。明るい春がやってきています。



合 掌



←庭瀬組寺800年記念慶讃法要の様子がYouTubeで見られます。

